

## 6、環境対応型印刷インキ用の新しいゴムローラ

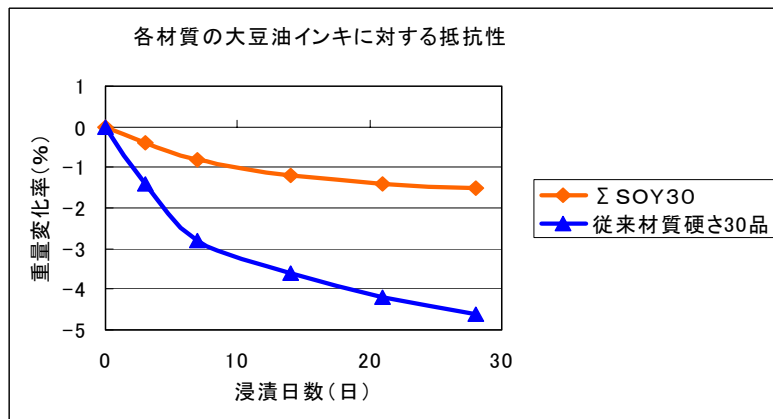
(株)加貫ローラ製作所 上中善視

### 1、はじめに

当社はゴムローラ専門メーカーとして、各種印刷用ゴムローラを長年に渡り印刷市場へ提供させて頂いている。印刷工業では大量の印刷インキを使用しており、そのVOC成分が人や地球環境に悪影響を及ぼすことから、近年、環境対応型印刷インキへの転換が進んでいる。それに伴いインキ組成が大きく変化してきたことから、今度は逆にゴムローラに対する影響度が一段と厳しくなっている。それらはゴムローラの径痩せ現象や硬さ上昇など経時変化への影響として現れ、ゴムローラメーカーとしてもいち早く対応する必要がある。そのような動向の中、当社ゴムローラ材質も環境対応型インキの開発に対応して新しく生まれ変わってきており、今回当社の平版インキ用ゴムローラ材質”SOYシリーズ”の経時変化改善などを中心にUVインキやハイブリッドインキ用ローラ材質も含めて新しいインキ用ゴムローラのご紹介をさせて頂いた。

### 2、油性インキ用ゴムローラ材質について

オフセットインキ(油性)では、従来型鉱物油系インキからアロマフリーインキ、大豆油インキ、ノンVOCインキなどの環境対応型印刷インキに転換し、今や国内市場の主流である。1997年に大豆油インキ対応ゴムローラ材質として上市し、ユーザー各位から高い評価を頂いているSOYシリーズはローラの経時変化が極めて小さく、長期間安定したニップ幅が確保され、印刷品質の安定に貢献している。



### 3、UV、ハイブリッド用ゴムローラ材質について

これらの印刷インキは作業性や印刷品質面で優位性があり、環境対応にも優れているので、今後飛躍的な伸びが期待されている。しかし、油性インキ用のゴムローラでは膨潤傾向にあり対応は難しい。UV印刷用インキローラ材質として、特殊ウレタンゴム材質のニューUV-Xシリーズは適性が高く、また、インキ硬化不良や転移不良もなく長期間安定してご使用頂ける。

### 4、おわりに

誌面の都合上、印刷インキ用ローラの一部の概要を述べるにとどまったが、印刷品質に影響を及ぼすゴムローラの技術要素は無数である。我々は今後も印刷業界各位のご教示を仰ぎながらゴムローラの性能や品質改善に精進する所存である。

以上